

公の施設目標管理シート（直営）

問合せ先 0256-72-8844(岩室地区公民館)

年度	令和3年度		
施設名	新潟市岩室地区公民館	所管部・課	新潟市中央公民館
施設の設置目的	市民のために、実際生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行い、もって住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的とします。		

当初予算(千円)		当初人員(人)		作成日	R3.6.22
歳入	641	正職員	3	修正日	
歳出	8,192	会計年度任用職員	1	評価日	R4.6.22

No.	視点	目標	評価指標					参考・補足	主な事業等	目標達成状況 未達成理由	評価	
			項目	H30実績	R1実績	R2実績	R3目標					R3結果
1	市民	学習施設として、広く市民の方から目標値以上に利用してもらうことを目指します。	年間利用者数1万人以上(単位:人)	13,907	15,643	6,743	6,700	6,546	岩室・間瀬地区公民館の利用者数(新型コロナウイルスの影響を考慮し、昨年実績とした)	岩室地区公民館 5,967人 間瀬地区公民館 579人	新型コロナウイルスの影響により、休館やキャンセル等があったため、達成できなかった	C:未達成
2	市民	地域コミュニティづくりをすすめ、地域団体(コミ協、自治会、育成協、など)と共に学習の場を作ります。	地域団体等との連携事業数(単位:件)	4	4	3	3	3	コミュニティ協議会、自治会、青少年育成協議会、スポーツ振興会、岩室児童館	子ども体験教室(ダンス・木工・ミニ門松) アンコールふるさと講座 少年飛行兵「私の歩んだ道」	新型コロナウイルス感染拡大防止に对策を講じながら達成することができた	B:達成
3	市民	地域と学校と協働した講座を開催し、ネットワークづくりを支援します。	出前型講座(単位:回)	4	3	0	3	3	岩室小学校1、和納小学校1、岩室中学校1	岩室小学校(おせち料理) 和納小学校(寄せ植え講習会) 岩室中学校(竹かご作り)	新型コロナウイルスの影響により開催時期に苦慮したが、予定どおり達成した	B:達成
4	財務	効率的な施設運営を行い経費削減に努めます。	運営コスト(1人当たりの光熱水費)300円以下(単位:円)	216	289	437	430	484	燃料費(灯油、電気、ガス、水道)の1人あたりのコスト(岩室・間瀬地区公民館)(新型コロナウイルスの影響を考慮し、昨年実績とした)	電気 1,024,841 円 灯油 1,723,143 円 ガス 118,259 円 水道 300,355 円	新型コロナウイルスの影響により、休館やキャンセル等で利用者減による単価上昇のため未達成	C:未達成
5	業務	災害などに迅速に対応できる体制づくり	防災訓練を年2回以上実施(単位:回)	2	2	2	2	2	防災訓練を2回以上実施する。(岩室・間瀬地区公民館)	年2回防災訓練(通報、消火、避難訓練)	10月、2月に利用者との避難訓練を行った	B:達成
6	業務	市民の方から安心して利用していただける施設運営を行い、事故防止に努めます。	施設利用者の事故発生件数を0(単位:件)	0	0	0	0	0	施設利用者の事故防止に努め発生件数0とする(単位:件)	S54竣工施設であるので、設備関係の維持管理	日常点検により不具合箇所を早期発見、早期修繕を行った	B:達成
7	人材	施設目標を達成するうえで、必要な知識やスキルの向上を図ります。	人材研修を年間3回以上実施(単位:回)	4	4	3	3	3	公民館全職員を対象に研修を実施	コンプライアンス、情報セキュリティ、ハラスメント研修	研修による再確認と職員同士の情報共有を図った	B:達成
8	市民	公民館事業(講座)の満足度	事業終了後の満足度80%以上(単位:%)			94	80	98	令和2年度からの追加項目(講座参加者のアンケート実施)	子ども体験教室(ダンス・木工・ミニ門松) アンコールふるさと講座 少年飛行兵「私の歩んだ道」 いきいきセミナー 出前型講座(小学校2、中学校1) ゆりかご学級	アンケート結果は、満足度98%となり、参加者の評価は高かった	A:達成(優)
9												
10												

取り組みについて(目標設定の考え方など)	総合評価 (評価を踏まえた課題分析・方向性など)
<ul style="list-style-type: none"> 地域活動・サークル活動の拠点として、地域コミュニティ活動の活性化に寄与します。 利用者数・稼働率の向上を目指し、市民でにぎわい親しみやすい公民館を目指します。 地域の人材を活用し、ボランティア講師をお願いするなど工夫して経費削減に努めます。 地域と学校、社会教育施設が協働する事業を展開します。 	<ul style="list-style-type: none"> 高齢化とともに年々定期利用団体数が減少している。また、新型コロナウイルスの影響によりサークル活動の自粛、公民館事業の中止や延期により、公民館の利用者数が減少した。それに伴い利用者一人あたりの運営コストが大きくなった。利用者の確保と経費削減に努める。 1中学校2小学校の地域教育コーディネーターとは情報交換をしながら上手く連携がとれている。学校の理解と協力のもと出前型講座の満足度は高いので、学校と地域の連携を図るために効果的な事業であることから継続して取り組んでいきたい。